

みんなで思いやりの心を育むために

思いやりの心：相手の立場を推し量り、自分の思いを相手に向けること

思いやりの心は、多くの人のかかわりの中で育まれていきます。
学校の中で、思いやりの心を育む場を大切にしていましょよう。

- 思いやりの心を育むために有効な体験活動・行事などの教育活動を年間計画に位置付けましょよう。
- 道徳の時間は、受容的・共感的な姿勢で授業を進め、自分を見つめる振り返りの時間をもつようにしましょよう。
- 家庭・地域でそのかかわりを深めるために、地域の人材や素材を活用したり、授業公開を行ったりする機会を設定しましょよう。

ふるさとの人や自然とつながり、思いやりを学ぶ



地域や保護者の協力を得て、ボディボード体験や野菜栽培などの体験活動を行う。

田原市立赤羽根小学校

思いやりや郷土愛の心情を高める



道徳とE S Dの取組の連携を強化し、E S Dカレンダーの中に位置付ける。

あま市立甚目寺小学校

地域と保護者の生徒を思う気持ちを再確認できる



生徒会与PTAが協力して「あいさつ運動」「掃除しまクリーン」などの活動を行う。

瀬戸市立水無瀬中学校

自分や相手の立場を意識した発言ができる



「みつめる」「かかわる」を基本に道徳の時間の授業を進める。

豊橋市立羽田中学校

地域のために何かしたいという気持ちを高める



地域の方をゲストティーチャーに招き、道徳の時間の授業を行う。

知立市立猿渡小学校

人の温かさや素晴らしさに気付く



地域で活躍されている方を講師に招いた交流活動を行う。

幸田町立南部中学校

保護者の方に必要性を強く訴えることができる



保護者が参加し、道徳の時間の授業を行う。

尾張旭市立西中学校

教師と子ども、子ども同士の間人間関係を深める



日常生活から道徳性を育むことのできる学級作りを工夫する。

大口町立大口西小学校

上記の学校は、平成25・26年度の道徳教育支援事業を受け、「思いやりの心を育む道徳教育の在り方」について研究推進していただきました。

